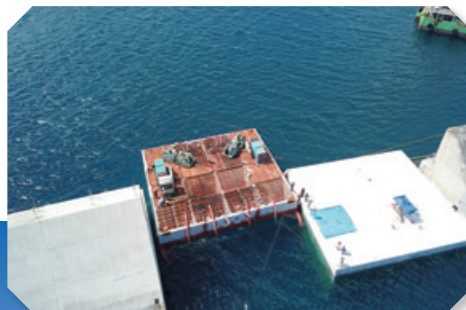


第206期 報告書

2021年4月1日～2022年3月31日



豊かな未来へ 技術のメッセージ

若築建設

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

当社第206期の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期におけるわが国経済は、緩やかながら回復傾向にあるものの、通期にわたって新型コロナウイルス感染症の影響を受けました。また海外情勢の混乱に起因する原材料・資源価格の高騰やサプライチェーンの混乱は、景気回復に大きな影響を与えています。先行きについては、感染対策の定着や各種政策の効果もあって、景気がさらに持ち直していくことが期待されます。ただし、今後も変異株を含む感染症対策の動向や、地政学リスクによる金融資本市場の影響に留意する必要があります。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移しています。一方で民間の建設投資は新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、国内外の経済活動の再開を背景に持ち直しています。当社の状況といたしましては、感染症防止策を徹底したことで国内・海外ともに手持ち工事はほぼ中斷することなく進捗しました。

このような事業環境のもと、当社は創業140周年に向け「サステナビリティの追求」を基本方針とした長期ビジョンを策定し、その第1期となる「中期経営計画(2021年度-2023年度)」では「事業基盤の強化」と「ESG経営の推進」を基本戦略とし、全社一丸となって企業価値の向上に取り組んでおります。

本計画の概要は以下のとおりであります。

【中期経営計画(2021年度-2023年度)】

○基本方針

「サステナビリティの追求 ～創業140周年に向けて～」

○基本戦略

すべてのステークホルダーの期待に応えられる企業へ

1. 事業基盤の強化

- ・顧客ニーズに応えられる企画・提案力の強化
- ・生産性の向上
- ・人的資源の充実
- ・財務体質の強化

2. ESG経営の推進

E(環境)

- ・再生可能エネルギー分野への注力
- ・建設工事でのCO₂削減
- ・ブルーカーボンなど、海洋環境改善への取り組み

S(社会)

- ・安全かつ良質なインフラの提供
- ・アフターコロナにおける働きがいのある職場環境

- ・建設業を担う人材の育成
- ・協力会社との共生
- ・地域社会への貢献

G(ガバナンス)

- ・新様式をふまえたりスクマネジメント
- ・ガバナンスの強化
- ・コンプライアンスの徹底
- ・IRの強化

経営環境につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界経済への影響は長引くことが想定されるものの、建設業への影響は限定的と考えられます。国土強靱化政策など引き続き社会資本整備は堅調に推移すると想定され、民間設備投資におきましても長期的には都市圏を中心として需要の回復も見込まれています。

しかし一方、将来的には建設就労者の減少が懸念され、週休二日の実現を含めた働き方改革、生産性の向上、担い手確保などが業界全体の喫緊の課題となっています。

これらの課題の解決に邁進し、また、気候変動や資源不足、人口構造の変化等に伴う社会的な課題の解決に向けて積極的に取り組むなど、社会価値(ESG・SDGs)と経済価値を包括した経営を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月



代表取締役社長 烏田克彦

営業の概況

営業の経過および成果

当社は業績の向上に努めてまいりました結果、受注高は前期比4.3%増の922億円となりました。売上高につきましては、完成工事高が前期比1.0%減の850億円で、不動産売上高5億円と開発事業等売上高5億円を加えて、前期比1.0%減の861億円となりました。この結果、次期繰越高は前期比7.8%増の871億円となりました。

損益につきましては、全体的に工事採算性が向上していること、とくに一部国内工事の変更請負金額が当初見込みよりも増加したこと、前期と比較して不採算工

事の案件数が減少したこと等の理由により、営業利益は前期比159.2%増の62億円、経常利益は前期比142.7%増の63億円、当期純利益は前期比175.5%増の45億円となりました。

財産の状況につきましては、短期借入金および長期借入金の返済により、有利子負債は前期比66.6%減の59億円、総資産は前期比12.2%減の769億円となりました。また、純資産につきましては、主に当期純利益により前期比12.8%増の348億円、自己資本比率は45.3%となりました。

部門別受注高・売上高・繰越高

(単位：百万円)

区 分	前期繰越高	当期受注高	当期売上高	次期繰越高	
建設事業	海上土木	17,941	31,064	33,760	15,245
	陸上土木	39,649	33,031	32,994	39,685
	建築	22,573	27,485	18,338	31,720
	計	80,164	91,580	85,093	86,651
不動産事業	—	—	505	—	
開発事業等	445	691	590	546	
合計	80,610	92,272	86,189	87,198	

当期中の主な受注工事

発注者	工事名	工事場所
国土交通省	令和3年度 東京国際空港A誘導路地盤改良工事	東京都
防衛省	久里浜外(3) 教場新設等建築工事	神奈川県
東京都	新中川護岸耐震補強工事(その12)	東京都
西日本高速道路株式会社	松山自動車道 東温スマートインターチェンジ工事	愛媛県
西日本鉄道株式会社・三菱地所レジデンス株式会社	福岡市城南区烏飼7丁目計画 新築工事	福岡県

当期中の主な完成工事

発注者	工事名	工事場所
国土交通省	令和元年度名古屋港金城ふ頭岸壁(-12m) 築造工事	愛知県
宮城県	清水田地区海岸外災害復旧工事	宮城県
中日本高速道路株式会社	東名高速道路 綾瀬スマートインターチェンジ工事	神奈川県
日鉄エンジニアリング株式会社	苅田バイオマス発電所建設工事	福岡県
いすゞ自動車販売株式会社	いすゞ自動車九州株式会社熊本支店・熊本サービスセンター増改築工事	熊本県

Topics

わっくんジェットの就航

当社は、株式会社スターフライヤーが保有する航空機11機のうち、1機にマスコットキャラクター「わっくん」を機体広告として掲出し、昨年12月から今年4月まで国内線6路線、国内7空港（羽田空港、中部国際空港、関西空港、宇部空港、北九州空港、福岡空港、那覇空港）で運航されました。

株式会社スターフライヤーは、当社発祥の地である北九州を拠点としており、地元への貢献と感謝の気持ち込め、機体広告を決めました。



わっくんジェットの離陸



機体広告

2022クロスカントリー日本選手権に協賛

クロスカントリーは、草原や丘陵など整地されていないコースで行う陸上競技の中長距離競走です。当社は、今年2月に福岡市東区の国営海の中道海浜公園で開催された、クロスカントリーの国内トップを決める日本選手権に協賛しました。

中期経営計画（2021年度－2023年度）で掲げた、ESG経営の推進における地域貢献活動の一環としての取り組みです。



スタートゲート



コース内看板

Technology

遠心脱水機による浚渫土砂の減容化技術

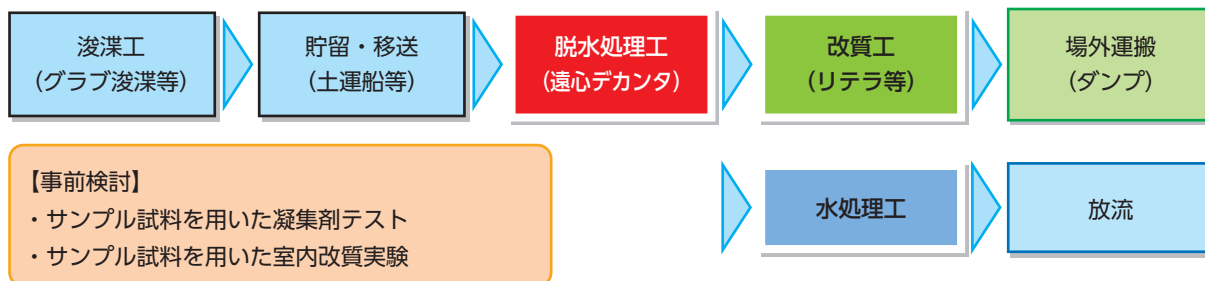
～浚渫ヘドロの脱水減容化・改質・再資源化のトータルソリューション～

【背景】

埋立処分場の受け入れ容量の減少、処分費用の高騰化、天然建設資材の枯渇が叫ばれる昨今、港湾域や河川域から浚渫された高含水比泥土の減容化、再資源化に対する社会のニーズはますます高くなっています。従来は天日乾燥に期待する曝気工法、大量の固化材投入による固化処理工法、種々のドレーン材による圧密脱水工法などを用いて浚渫土砂を処理・処分してきましたが、用地確保が難しいこと、臭気問題が生じること、工期が長くかかることなど、様々な課題がありました。

【技術の概要】

そこで当社では、運搬・埋立処分・再利用が困難な高含水比泥土（有機ヘドロなどの浚渫土砂）を比較的小規模な仮設プラント設備によって脱水減容化し、続けて少量の改質材を添加することにより、ハンドリング性が高く、所定の強度が付与された建設資材としてリサイクルするトータルソリューション技術を提供します。技術の核となるのは、機械脱水装置の一つである「スクリューデカンタ式遠心脱水機」および「連続バッチ式自走土質改良機」です。



脱水減容化・改質・再資源化システムの処理フロー



浚渫土砂 (有機ヘドロ)



スクリューデカンタ式遠心脱水機



連続バッチ式自走土質改良機

【最適ソリューションを提供する支援体制】

脱水前後の浚渫土砂の含水比、各種改質材の種類と添加量、強度の相互関係をあらかじめ室内試験において検討する支援体制を確立しており、ローカル特性が強い有機ヘドロに対して最適な組み合わせを提案することが可能です。施工現場においては、脱水後浚渫土砂（脱水ケーキと呼ぶ）の含水比を計測し、改質材の適正添加量を迅速に決定する弊社独自の品質管理手法を採用します。これにより、施工効率性・経済性の向上、環境負荷の低減、浚渫土砂の適正処理・再利用の促進に貢献します。

完成工事紹介

(仮称) ビューテック株式会社市原営業所新築工事

【発注者：ビューテック株式会社】

本事業は、当社の設計施工による物件で、倉庫棟全長が220m、区画数が8区画（区画間口は22m～33m）となる物流倉庫の新築工事です。使い勝手を良くするために、柱の本数を在来工法より少なくする事が可能となるシステム建築を採用しています。また、トラック動線についても、入退場時のストレスを無くすために1way動線の計画にしました。

山間部の風の強い場所であったことから、工事期間中は常に強風対策が必要で、特にトラックからの荷捌きエリアには、雨天時でも濡れずに作業が行える様に突出した8mの庇があり、施工時には特段の注意が必要でした。



川崎港臨港道路東扇島水江町線東扇島アプローチ部橋梁下部工事

【発注者：国土交通省】

本事業は、川崎港において、交通量の需要の増大に備え、円滑な物流を確保するための、東扇島地区と内陸部を結ぶ臨港道路整備事業です。

本工事は、川崎港臨港道路東扇島水江町線整備における東扇島アプローチ部橋梁下部のRC橋梁工、構造物撤去工、仮設工および調査工を施工するものです。

工事起点側には火力発電施設への高圧ガスが埋設されており、周辺企業へ影響を与えないよう配慮した施工が求められました。また、川崎市の環境アセスメントの結果、杭打ち機の使用台数制限があり、後工程が圧縮されることとなりましたが、工期内に無事完成することができました。



令和2年度 設楽ダム右岸工事用道路工事

【発注者：国土交通省】

設楽ダムは、豊川の河口から約70km上流、北設楽郡設楽町で建設計画が推し進められている重力式コンクリートダムで、完成すれば愛知県内で最大（高さ約129m、総貯水量9,800万㎡）のダムとなります。

本工事は、設楽ダム建設に伴う工事用道路の一部として、設楽町松戸地区の寒狭川右岸において延長約213.5mに渡る鋼製の仮橋を構築するものです。施工箇所は急峻な法面での施工であり、法面の一部に風化岩盤が露出しており、落石の発生が懸念されました。また、施工箇所下方では斜面対策工事が施工中でしたが、発注者協議により落石防護対策の施工を行い、隣接区との作業調整も進み、大きな災害やトラブルもなく工事を完了することができました。



水島港玉島地区航路（-12m）浚渫工事

【発注者：国土交通省】

本事業は、水島港国際物流ターミナル事業の一環として企業間連携による大型穀物船を活用した共同輸送の進展に対応するための玉島東航路の整備事業です。

本工事は、水島港玉島地区航路（-12m）の浚渫工、土捨工を施工するものです。施工場所の近隣で行われる海苔養殖の関係から、浚渫工の完了工期がタイトであるなか、空気圧送船の不具合により、作業進捗の遅れが発生していましたが、排砂管路の変更をはじめ、空気圧送船の入れ替え等の対策を講じることにより、無事、指定工期限内に竣工することができました。



令和3年度八代港大築島土砂処分場地盤改良工事（第2次）

【発注者：国土交通省】

八代港は、九州西部の中央部に位置し、交通の大動脈である九州縦貫自動車道および現在整備が進められている南九州西回り自動車道の結節点に位置するなどの地理的優位性を有しており、熊本県第2の都市・八代市を中心に熊本県域を越えた九州産業の物流を支えています。

本工事は、八代港大築島において、土砂処分場の共通工およびサンドコンパクションパイルによる海上地盤改良工を施工するものです。発注当初より、数量変更、工種の追加等がありましたが、工期限内に無事完成し、発注者からも高評価を得ることができました。



九州新幹線（西九州）、嬉野温泉（仮称）駅外1箇所新築

【発注者：独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構】

西九州新幹線は、福岡市と長崎市を結ぶ整備新幹線計画のうち、武雄温泉駅・長崎駅間約66kmをフル規格新幹線として整備するもので、2022年9月の開業が予定されています。

今年9月の開業時は、博多駅・武雄温泉駅間を走行する在来線特急列車と新幹線列車の乗り換えを武雄温泉駅の同一ホームで行う「対面乗換方式」で運行します。

本工事は、高さ約11m、延床面積5,397㎡、鉄骨造地上1階建ての嬉野温泉駅を新築するもので、当社は新幹線駅舎（建築）の施工に初めて携わりました。

嬉野市においては初のJR鉄道駅であり、日本三大美肌の湯として有名な嬉野温泉とも近いため、観光目的での多くの利用が期待されます。



財務諸表 (単体)

貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	(単位：百万円)	
	当期 (2022.3.31)	前期 (2021.3.31)
資産の部		
流動資産	61,987	73,931
固定資産	14,988	13,743
有形固定資産	9,028	8,394
無形固定資産	298	239
投資その他の資産	5,661	5,109
資産合計	76,976	87,675
負債の部		
流動負債	32,993	47,066
固定負債	9,136	9,725
負債合計	42,130	56,792
純資産の部		
株主資本	32,778	28,922
資本金	11,374	11,374
資本剰余金	2,931	2,907
利益剰余金	18,809	14,953
自己株式	△337	△312
評価・換算差額等	2,067	1,960
その他有価証券評価差額金	360	254
土地再評価差額金	1,706	1,705
純資産合計	34,846	30,882
負債純資産合計	76,976	87,675

損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	(単位：百万円)	
	当期 (2021.4.1~2022.3.31)	前期 (2020.4.1~2021.3.31)
売上高	86,189	87,091
売上原価	74,062	79,271
売上総利益	12,127	7,819
販売費及び一般管理費	5,833	5,390
営業利益	6,293	2,428
営業外収益	281	516
営業外費用	247	337
経常利益	6,327	2,607
特別損失	35	8
税引前当期純利益	6,292	2,599
法人税、住民税及び事業税	2,081	973
法人税等調整額	△362	△33
当期純利益	4,573	1,659

株主資本等変動計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	株主資本							評価・換算差額等			純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金		評価・換算 差額等合計
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計						
2021年4月1日 残高	11,374	2,843	63	2,907	14,953	14,953	△312	28,922	254	1,705	1,960	30,882
会計方針の変更による累積的影響額					△14	△14		△14				△14
会計方針の変更を反映した当期首残高	11,374	2,843	63	2,907	14,939	14,939	△312	28,908	254	1,705	1,960	30,868
当事業年度中の変動額												
剰余金の配当					△701	△701		△701				△701
当期純利益					4,573	4,573		4,573				4,573
自己株式の取得							△150	△150				△150
自己株式の処分			24	24			125	149				149
土地再評価差額金の取崩					△1	△1		△1				△1
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)									106	1	107	107
当事業年度中の変動額合計	-	-	24	24	3,870	3,870	△25	3,870	106	1	107	3,977
2022年3月31日 残高	11,374	2,843	88	2,931	18,809	18,809	△337	32,778	360	1,706	2,067	34,846

財務諸表（連結）

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当期 (2022.3.31)	前期 (2021.3.31)
資産の部		
流動資産	66,222	77,787
固定資産	15,256	13,686
有形固定資産	10,014	9,318
無形固定資産	306	248
投資その他の資産	4,936	4,119
資産合計	81,479	91,474
負債の部		
流動負債	34,701	48,594
固定負債	8,422	9,035
負債合計	43,124	57,630
純資産の部		
株主資本	33,805	29,786
資本金	11,374	11,374
資本剰余金	2,948	2,924
利益剰余金	19,819	15,800
自己株式	△337	△312
その他の包括利益累計額	3,289	2,907
その他有価証券評価差額金	360	254
土地再評価差額金	1,706	1,705
退職給付に係る調整累計額	1,221	947
非支配株主持分	1,260	1,150
純資産合計	38,355	33,844
負債純資産合計	81,479	91,474

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当期 (2021.4.1~2022.3.31)	前期 (2020.4.1~2021.3.31)
売上高	89,164	89,822
売上原価	76,194	81,230
売上総利益	12,970	8,591
販売費及び一般管理費	6,135	5,673
営業利益	6,834	2,917
営業外収益	199	435
営業外費用	252	342
経常利益	6,781	3,011
特別利益	0	2
特別損失	35	8
税金等調整前当期純利益	6,746	3,006
法人税、住民税及び事業税	2,268	1,119
法人税等調整額	△370	△25
当期純利益	4,848	1,912
非支配株主に帰属する当期純利益	111	99
親会社株主に帰属する当期純利益	4,736	1,812

連結株主資本等変動計算書（要旨）

（単位：百万円）

	株主資本					その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
2021年4月1日 残高	11,374	2,924	15,800	△312	29,786	254	1,705	947	2,907	1,150	33,844	
会計方針の変更による累積的影響額			△14		△14						△14	
会計方針の変更を反映した当期首残高	11,374	2,924	15,785	△312	29,771	254	1,705	947	2,907	1,150	33,829	
連結会計年度中の変動額												
剰余金の配当			△701		△701						△701	
親会社株主に帰属する当期純利益			4,736		4,736						4,736	
自己株式の取得				△150	△150						△150	
自己株式の処分		24		125	149						149	
土地再評価差額金の取崩			△1		△1						△1	
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						106	1	274	382	109	491	
連結会計年度中の変動額合計	—	24	4,034	△25	4,034	106	1	274	382	109	4,525	
2022年3月31日 残高	11,374	2,948	19,819	△337	33,805	360	1,706	1,221	3,289	1,260	38,355	

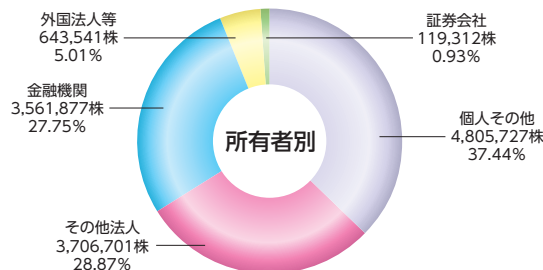
株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数 24,000,000株
 発行済株式の総数 12,964,993株
 株主数 6,970名
 大株主

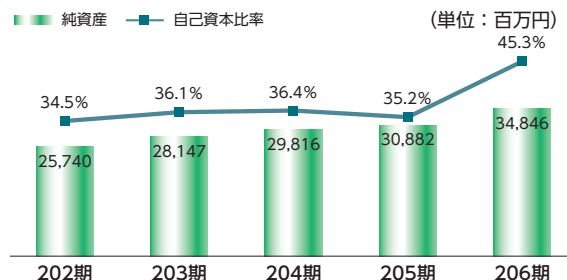
株主名	持株数(株)	持株比率
株式会社麻生	2,567,700	20.00%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,333,700	10.39
若築建設協力会社持株会	919,244	7.16
三井住友信託銀行株式会社	527,600	4.11
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	440,000	3.43
株式会社三井住友銀行	315,025	2.45
若築建設従業員持株会	295,949	2.31
株式会社千葉銀行	292,242	2.28
公益財団法人石橋奨学会	206,050	1.61
太平電業株式会社	204,500	1.59

(注) 持株比率は自己株式(127,835株)を控除して計算しております。

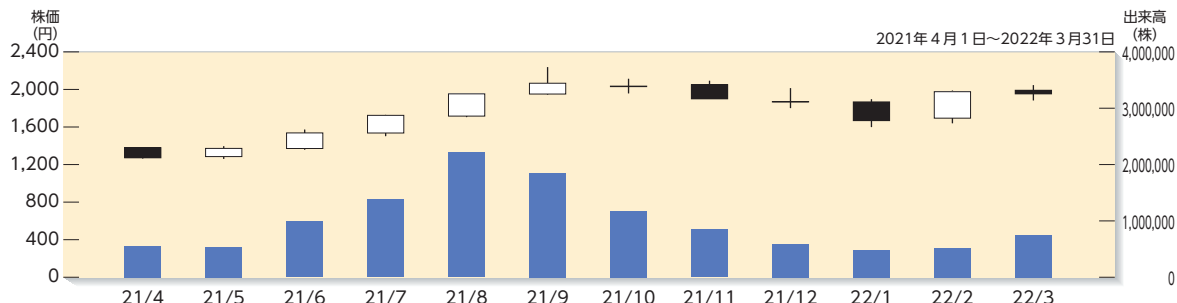
株式の分布状況



純資産・自己資本比率



株価チャート



役員 (2022年6月29日現在)

【執行役員】

執行役員社長	鳥石 彦
専務執行役員	石井 克己
専務執行役員	梶原 康弘
専務執行役員	松本 敏
専務執行役員	中村 誠
常務執行役員	中本 忠彦
常務執行役員	寺本 秀高
常務執行役員	野木 久靖
常務執行役員	牧原 靖豊
常務執行役員	平宮 坂光
常務執行役員	花田 輪孝
執行役員	三井 謙史
執行役員	井口 史朗
執行役員	西田 洋一
執行役員	久保 雅比古
執行役員	山本 憲久
執行役員	荒瀬 山之晴
執行役員	中刀 幸英
執行役員	山根 拓世
執行役員	辻 幹彦
執行役員	長 廻
執行役員	中野 裕之

【取締役】

代表取締役社長	鳥石 彦
代表取締役	石井 克己
取締役	中村 久弘
取締役	原田 久靖
取締役	平田 祐夫
取締役	朝倉 康美
取締役	原森 美穂

【監査役】

常勤監査役	佃 敏郎
常勤監査役	前田 克典
監査役	澤井 謙一

(注) 取締役のうち朝倉康夫、原田美穂、森田隼人の3氏は、社外取締役であります。

監査役のうち前田克典、澤井謙一の両氏は、社外監査役であります。



本店・九州支店 および わかちく史料館

会社概要 (2022年4月1日現在)

商号	若築建設株式会社 (WAKACHIKU CONSTRUCTION CO.,LTD.)
創業	明治23年(1890年)5月23日
資本金	11,374百万円
従業員	795名
事業所	
本店	〒808-0024 北九州市若松区浜町一丁目4番7号 TEL (093) 761-1331
東京本社	〒153-0064 東京都目黒区下目黒二丁目23番18号 TEL (03) 3492-0271
東北支店	〒980-0014 仙台市青葉区本町二丁目10番28号 TEL (022) 221-4325
千葉支店	〒260-0027 千葉市中央区新田町4番22号 TEL (043) 242-2245
東京支店	〒153-0064 東京都目黒区下目黒二丁目23番18号 TEL (03) 3492-0811
横浜支店	〒231-0015 横浜市中区尾上町一丁目6番 TEL (045) 662-0814
北陸支店	〒950-0087 新潟市中央区東大通一丁目2番23号 TEL (025) 241-1242
名古屋支店	〒460-0003 名古屋市中区錦一丁目11番20号 TEL (052) 201-5321
大阪支店	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町二丁目2番8号 TEL (06) 6261-6736
中国支店	〒730-0031 広島市中区紙屋町一丁目3番2号 TEL (082) 248-1810
四国支店	〒760-0071 高松市藤塚町一丁目2番1号 TEL (087) 833-7347
九州支店	〒808-0024 北九州市若松区浜町一丁目4番7号 TEL (093) 752-3510
福岡支店	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東一丁目13番9号 TEL (092) 483-5307
海外事業所	ジャカルタ事務所 (インドネシア共和国) コロンボ事務所 (スリランカ民主社会主義共和国) ハノイ事務所 (ベトナム社会主義共和国) マレ事務所 (モルディブ共和国)
わかちく史料館	〒808-0024 北九州市若松区浜町一丁目4番7号 当社本店3階 TEL (093) 752-1707 開館時間 午前10時～午後4時 休館日 毎週月曜日・祝祭日・年末年始 入館料 無料

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関 株主名簿管理人事務取扱場所	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) (ホームページURL) 公告方法	☎ 0120-782-031 https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/ 当社のホームページ (https://www.wakachiku.co.jp) に掲載する。ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する。
上場金融商品取引所	東京証券取引所

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設いたしております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記電話照会先をお願いいたします。

The image shows a screenshot of the Wakachiku website. The top part features a large banner with the text "Let's bring A New Breeze!" over a background of a sunset over the ocean. Below this, there is a smaller section with the headline "若き感性、築いた伝統。" (Younger sensibility, built tradition.) and a portrait of a young woman. The text below the headline discusses the company's commitment to tradition and innovation.

<https://www.wakachiku.co.jp>



WAKACHIKU

豊かな未来へ 技術のメッセージ

若築建設

〒153-0064

東京都目黒区下目黒二丁目23番18号

TEL 03-3492-0271 FAX 03-3490-1019

